

# 船舶・航空機の入港推移

## 1 船舶

北九州港（門司港・戸畑港の計）の船舶入港隻数の推移は図-32のとおりである。2020年は3,843隻となり、全国（96,483隻）の3.98%を占めている。このうち門司港は2,305隻、戸畑港は1,538隻であり、九州経済圏内の港では、それぞれ3位と5位になっている。

入港隻数は2012年の4,954隻をピークに減少が続いている。近隣の他港でも減少傾向にあるが、北九州港は近年の減少幅が大きい（図-33）。

直入港（入港隻数のうち、外国港から国内の他港を経由せずに直接入港する隻数）隻数は2011年の1,612隻をピークに減少傾向が続き、2020年は1,018隻となった。2020年の直入港の比率は26.5%であり、大分港、博多港、徳山下松港など近隣港に比べて低い傾向にある（図-34）。なお、直入港の比率は北九州港では近年横ばいで、近隣港では低下傾向で推移している。

九州経済圏の入港隻数上位港（2020年）

順位	港	入港隻数
1	博多港	2,924
2	下関港	2,456
3	門司港	2,305
4	大分港	1,820
5	戸畑港	1,538
6	徳山港	1,523
7	志布志港	748
8	宇部港	558
9	那覇港	540
10	伊万里港	470

図-32 船舶入港隻数の推移（北九州港）

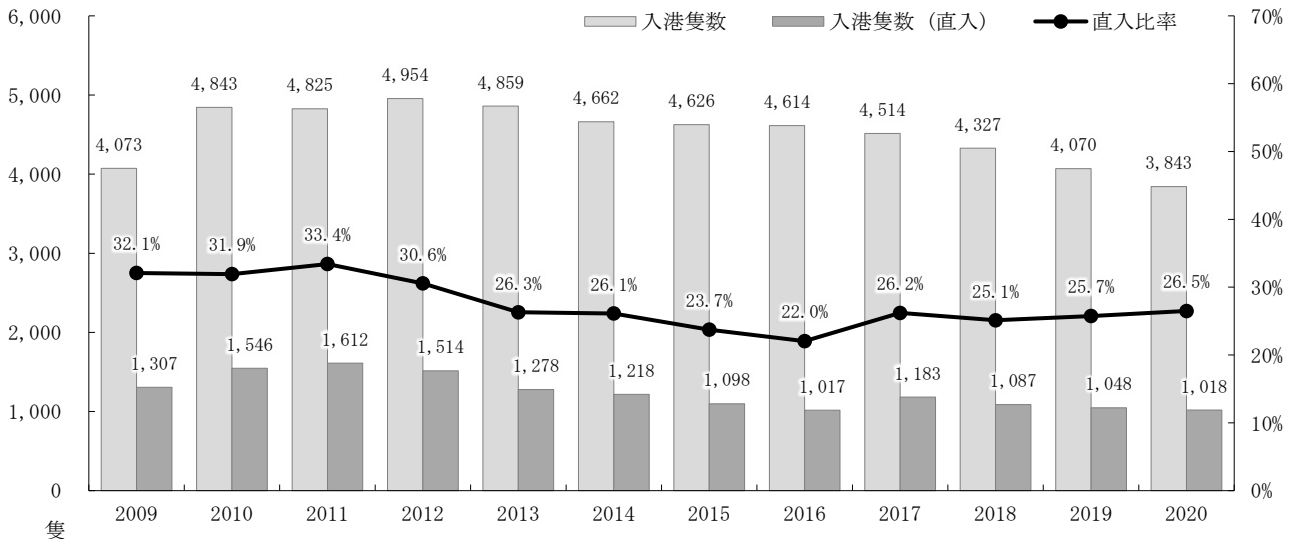


図-33 船舶入港隻数（近隣港との比較）

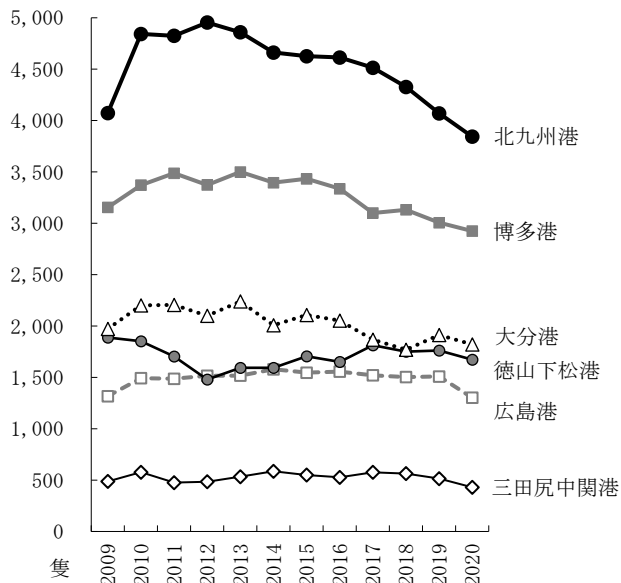
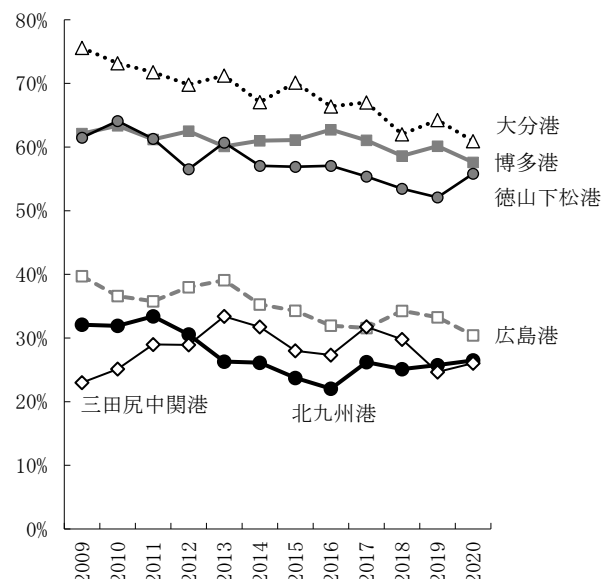


図-34 直入港比率（近隣港との比較）

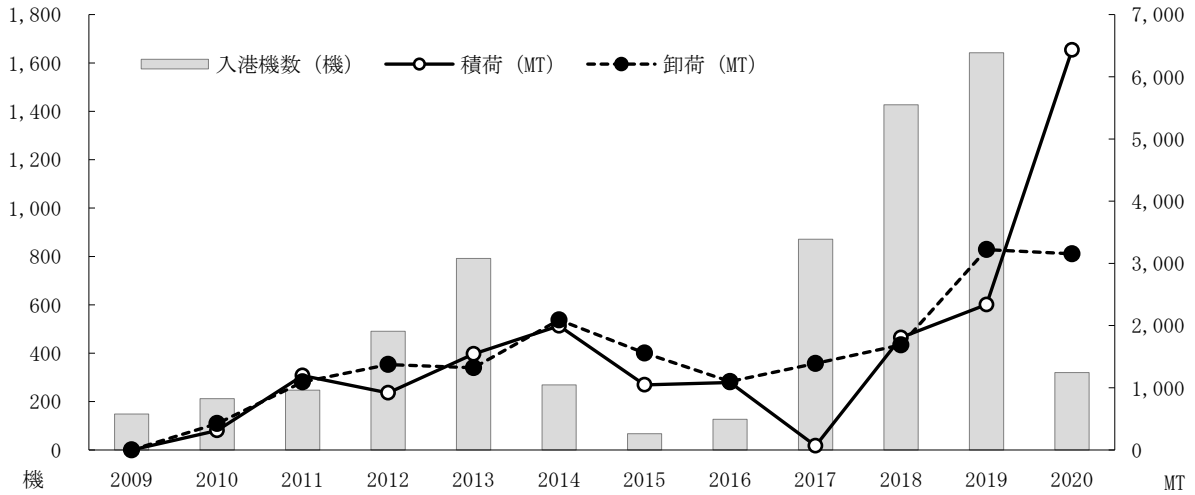


## 2 航空機

北九州空港の航空機入港機数は、インバウンド需要による韓国路線の増加を背景に、2016～2019年にかけて大きく増加してきた。しかし、新型コロナウイルス流行により国際旅客便の多くが運休となった2020年には前年比80.5%減の320機まで落ち込んだ。一方で国際貨物定期便の就航・増便により、積荷は2.75倍増となり、卸荷は前年比2.1%減にとどまった。2019年11月よりロサンゼルス～北九州空港～仁川国際空港の国際貨物定期便（週2便）が就航、2020年5月より需要増に対応するため仁川国際空港～北九州空港の折り返し運航にルート変更、さらに2020年12月より同運航ルートを週3便に増便という一連の動きがあり、仁川国際空港をハブとした北九州空港発の輸出が増加している。

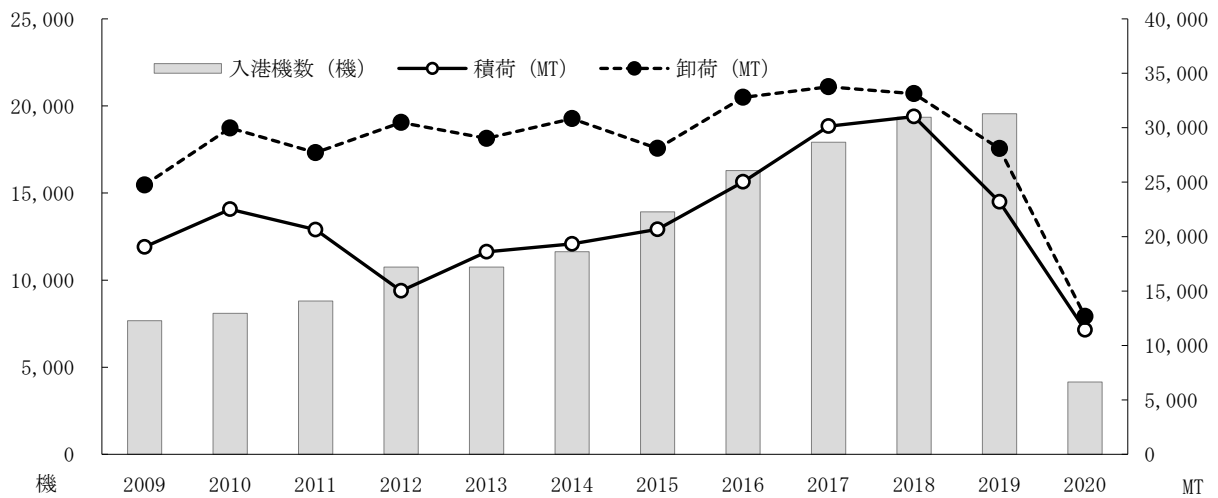
近隣の福岡空港では、新型コロナウイルス流行による国際旅客便の減少で、2020年の入港機数は前年比78.8%減の4,150機となった。それに伴い、積荷は前年比50.7%減、卸荷は前年比54.9%減と減少している。

図-35 航空機入港機数・積卸量の推移（北九州空港）



入港機数 (機)	149	212	247	491	792	269	67	127	871	1,427	1,642	320
積荷 (MT)	0	314	1,197	918	1,544	1,995	1,047	1,084	67	1,808	2,338	6,431
卸荷 (MT)	0	424	1,093	1,374	1,322	2,090	1,558	1,100	1,391	1,689	3,221	3,153

図-36 航空機入港機数・積卸量の推移（福岡空港）

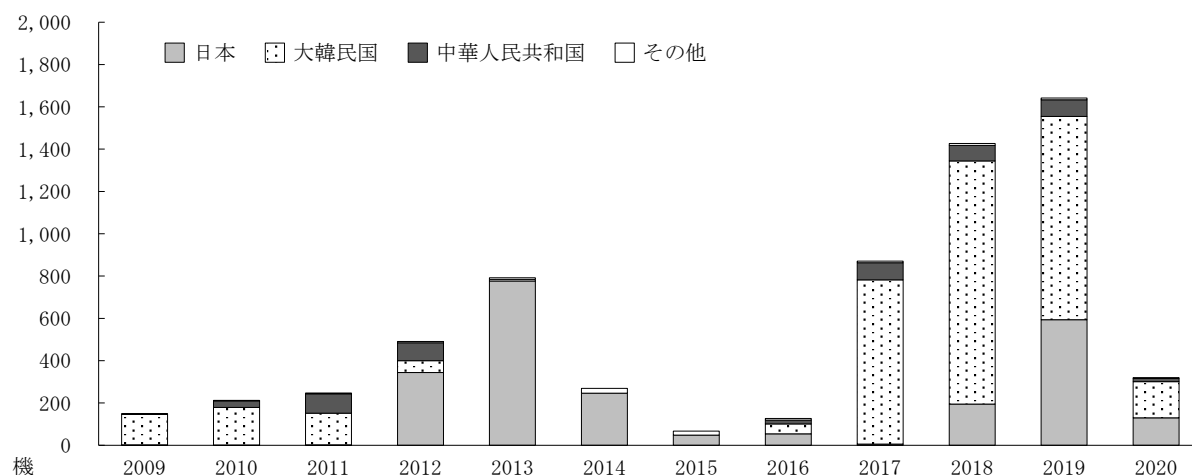


入港機数 (機)	7,673	8,097	8,798	10,751	10,746	11,635	13,924	16,289	17,915	19,352	19,549	4,150
積荷 (MT)	19,051	22,514	20,633	15,013	18,602	19,324	20,666	25,027	30,143	31,024	23,186	11,423
卸荷 (MT)	24,737	29,974	27,711	30,484	29,019	30,835	28,100	32,791	33,759	33,125	28,081	12,667

北九州空港における入港機の国籍内訳は、年により大きく変動してきた（図-37）。近年では日本国籍機が比較的多く、絶対数でも福岡空港を上回っている。外国籍機はほとんどが韓国籍機であり、その他はわずかである。韓国籍機は2017～2018年にかけてLCCの就航で増加したものの、2019年は年央からの日韓関係悪化により減少し、2020年は新型コロナウイルス感染流行により前年比82.2%減の171機となった。

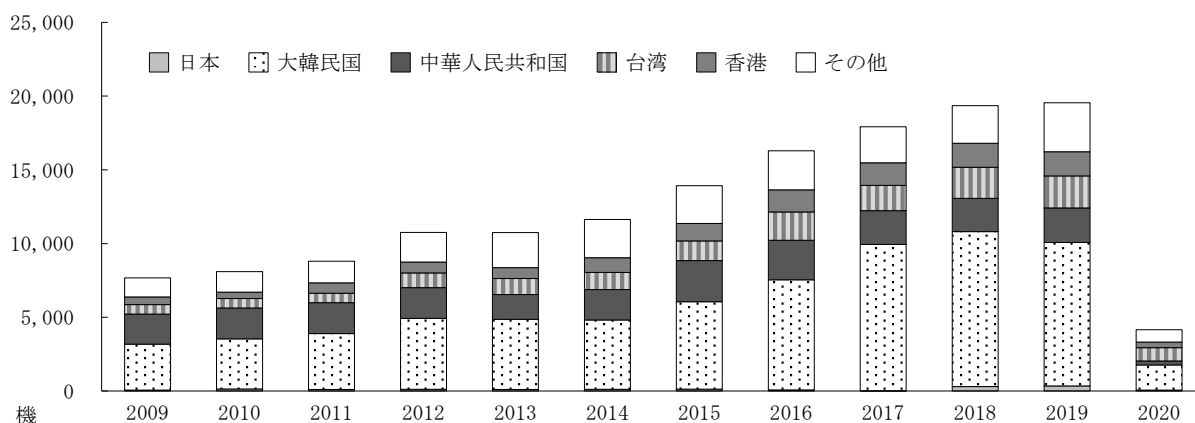
近隣の福岡空港では、韓国籍機が約半数を占めるが、中国、台湾、香港のほか、アメリカ合衆国や東南アジア国籍の航空機もあり、国籍が多様である（図-38）。しかし2020年は、新型コロナウイルス流行により、いずれも大きく減少した。

図-37 航空機の国籍別入港機数の推移（北九州空港）



	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
その他	1	2	4	6	8	23	19	8	8	9	9	4
中華人民共和国	1	31	91	85	0	0	0	18	81	74	78	15
大韓民国	145	178	150	56	7	0	0	47	776	1,149	961	171
日本	2	1	2	344	777	246	48	54	6	195	594	130

図-38 航空機の国籍別入港機数の推移（福岡空港）



	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
その他	1,290	1,393	1,468	2,006	2,385	2,598	2,561	2,646	2,437	2,551	3,328	835
香港	524	432	699	733	729	992	1,182	1,498	1,528	1,624	1,637	378
台湾	644	640	646	1,002	1,086	1,171	1,335	1,918	1,724	2,109	2,169	894
中華人民共和国	2,040	2,095	2,094	2,088	1,685	2,060	2,795	2,686	2,289	2,254	2,344	276
大韓民国	3,115	3,399	3,781	4,810	4,754	4,701	5,926	7,463	9,917	10,517	9,729	1,704
日本	60	138	110	112	107	113	125	78	20	297	342	63